

成田空港滑走路新增設推進協議会

次 第

日 時：2025年12月24日

10:00から

場 所：NAA本社S会議室

1. 開会

2. 空港会社社長あいさつ

3. 議題

(1) 機能強化の用地確保等に向けた取り組み状況について

(2) その他

4. 閉会

成田空港滑走路新增設推進協議会【資料 1】

機能強化の用地確保等に向けた 取り組み状況について

2025年 12月24日

成田空港滑走路新增設推進協議会



Narita Airport

Connecting Japan to the World

1. 工事概況

工事実施概況（B滑走路）

- B滑走路延伸整備の本格工事は、本年5月25日に着工
- 現在、東関東自動車道の地下道化や造成工事を進めており、今後は舗装工事等に着手していく予定



B滑走路延伸部造成整備
(進入灯橋梁撤去: 2025年11月)



東関東自動車道・切り回し・地下道化
(トンネル躯体構築中: 2025年11月)



- C滑走路新設整備の本格工事は、本年5月25日に着工
- トンネル部の軟弱地盤の改良に着手し、今後面的な切盛土など造成工事を進めていく



C滑走路地区:軟弱地盤の分布
(図中緑線の内側:精査中)



C滑走路横断道路(トンネル)整備
(地盤改良工実施中:2025年11月)



C滑走路南側造成工事(その1)
(地盤改良工実施中:2025年11月)



2. 第2の開港プロジェクトにかかる動き

成田空港での自動物流道路の実現に向けて

- 2025年12月15日、千葉県熊谷知事・NAA藤井社長、NRTエリアデザインセンターアドバイザー日本大学轟教授他、実証実験協力企業が出席し、成田空港における自動物流道路の実証実験の開始式典を実施。
- 当日は2つの搬送機器にて実験を行い、搬送機器の自動走行や通信安定性について検証。年度内を目途に順次他の搬送機器でも県道部・成田空港内道路でも実証実験を行っていく。

■ 実証実験を行う搬送機器

実験場所: 県道用地トンネル内

自動運転車両
(ティアフォー提供)
実施済み



トーイングトラクター
実施済み



タフ・ドンキー
今後実施

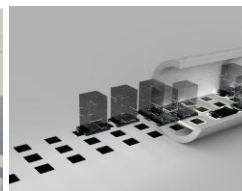


実験場所: NAA建設センター

ecoro shuttle
今後実施



Cuebus
今後実施



■ 実証実験場所



開始式典状況(NAA本社)



現地実証実験状況(県道トンネル部)①



現地実証実験状況(県道トンネル部)②



【第2の開港プロジェクトにかかる動き】

新貨物地区のマスタープラン策定に着手～企画競争型公募を開始～

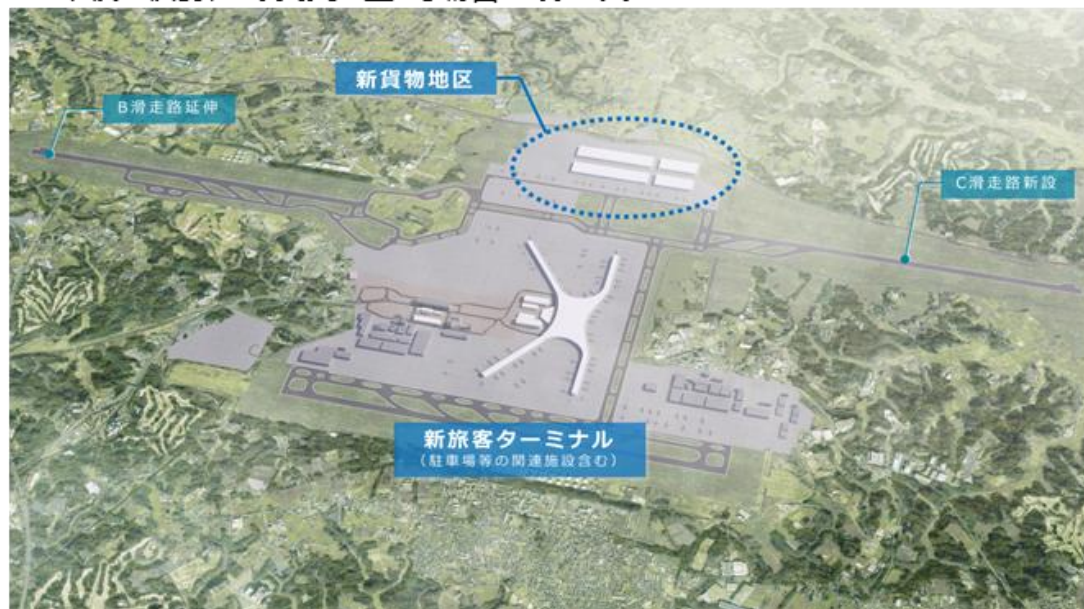
- 成田国際空港株式会社は、「成田空港第2の開港プロジェクト」の一環として、『新しい成田空港』構想で掲げる航空物流機能の高度化を進めます。
- 関係者の皆様のご意見を伺いながら、新貨物地区の基本的な施設レイアウトや配置を含むマスタープラン（「とりまとめ2.0」の深度化を図り、設計発注に備えるための計画の骨格）を策定してまいります。
- 2025年12月19日より、「『新しい成田空港』構想 新貨物地区マスタープラン策定業務」の公募を開始しました。企画競争形式で実施し、当社にてご提案内容を審査の上、2026年3月末頃に契約候補者を決定いたします。

<これまでの主な経緯>

- 2022年10月 学識経験者、国、県、地元市町で構成する『新しい成田空港』構想検討会を設置
- 2023年3月 検討会の「中間とりまとめ」を発表
- 2024年7月 計9回にわたる検討会での議論の成果として「とりまとめ2.0」を公表し、当社より国土交通省航空局長へ報告
- 2024年9月 国による「今後の成田空港施設の機能強化に関する検討会」が設置され、第1回検討会（空港ターミナルビルや貨物施設）を開催
- 2025年6月 同 第3回検討会（中間とりまとめ案について）を開催
中間とりまとめの公表

<『新しい成田空港』構想イメージ（2024年7月時点）>

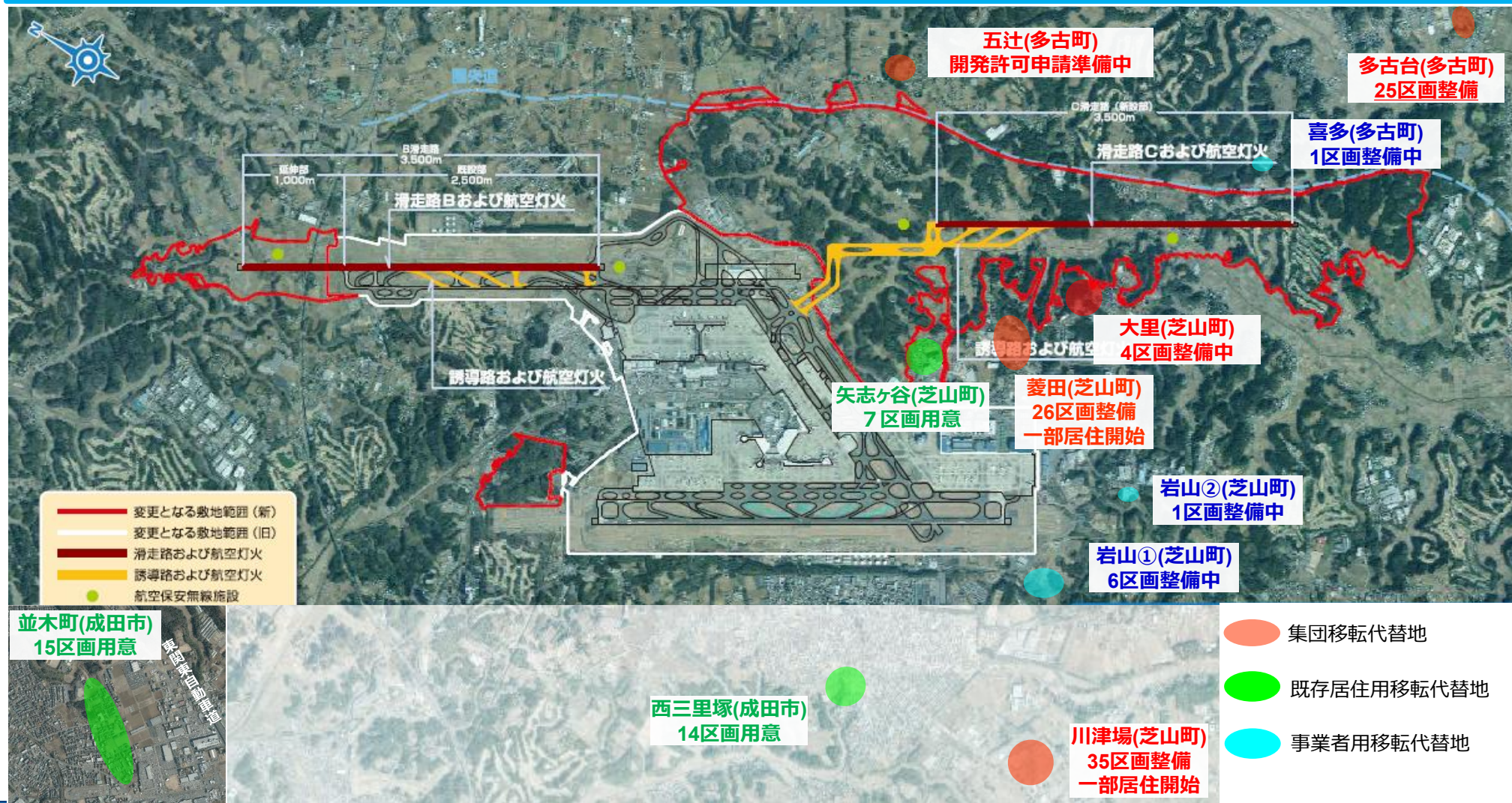
※今後の検討により変更が生じる場合があります。



3. 用地確保等に向けた取り組み状況

移転用代替地位置図

- 移転対象戸数 約 200 戸（拡張区域全域の住居）に対して、現在 126 区画を整備（整備中含む）。
- 法人所有物件 約 50 件（拡張区域全域）に対して、現在 8 区画を整備中。
- 代替地の現在の整備状況については、次頁のとおり。



※既存居住用移転代替地の「用意」とは、造成工事を要せず、区割りとこれに伴う道路の整備であることから表現を変えているもの。

【用地確保等に向けた取り組み状況】 移転用代替地整備状況

- 芝山町内代替地のうち、川津場代替地（35区画）、菱田代替地（26区画）は整備が完了し、一部居住開始。
- 多古町内代替地のうち、多古台代替地（25区画）については整備完了。五辻代替地については、開発許可申請準備中。
- 他の代替地については以下の通りの状況。

○集団移転用代替地整備状況

【大里代替地】⇒整備中

●整備計画

開発面積
⇒約0.77ha
区画数
⇒3区画
※近隣で別途
1区画整備



【多古台代替地】⇒整備完了

●整備計画

開発面積
⇒約2.0ha
区画数
⇒25区画



（参考）整備完了代替地



○事業者用代替地整備状況

【岩山①代替地】⇒整備中

●整備計画

開発面積
⇒約4.0ha
区画数
⇒6区画



【岩山②代替地】⇒整備中

●整備計画

開発面積
⇒約1.6ha
区画数
⇒1区画



【喜多代替地】⇒整備中

●整備計画

開発面積
⇒約1.4ha
区画数
⇒1区画



オープンハウス（対話型説明会）の開催状況について①

【オープンハウス（対話型説明会）開催概況】 ※全日10：00～16：00で開催

開催日	市町	会場	来場者数
2025年 10月26日(日)・27日(月)・28日(火)	芝山町	芝山町役場 本庁舎1階町民ホール	102名
10月31日(金)・11月1日(土)	香取市	香取市役所1階ロビー	68名
11月14日(金)・15日(土)・16日(日)	多古町	多古町コミュニティプラザ1階展示ホール	158名
11月28日(金)・29日(土)	神崎町	神崎ふれあいプラザ 展示ホール	78名
11月30日(日)・12月1日(月)	成田市	成田市役所 本庁舎1階 市民ロビー	127名
12月5日(金)・6日(土)	栄町	ふれあいプラザさかえ ふれあいセンター1階 展示ロビー	175名
12月12日(金)・13日(土)	山武市	松尾交流センター洗心館（松尾公民館）	57名
12月19日(金)・20日(土) 12月21日(日)	横芝光町	横芝光町町民会館 大ホール 横芝光町文化会館 集会室	120名
2026年 1月9日(金)・10日(土)	稲敷市	稲敷市役所 1階ロビー	—
1月16日(金)・17日(土)	河内町	河内町農業環境改善センター ロビー	—
1月18日(日)・19日(月)	富里市	富里市すこやかセンター(保健センター) 1階	—

【参考】オープンハウス開催中の様子



芝山町



多古町

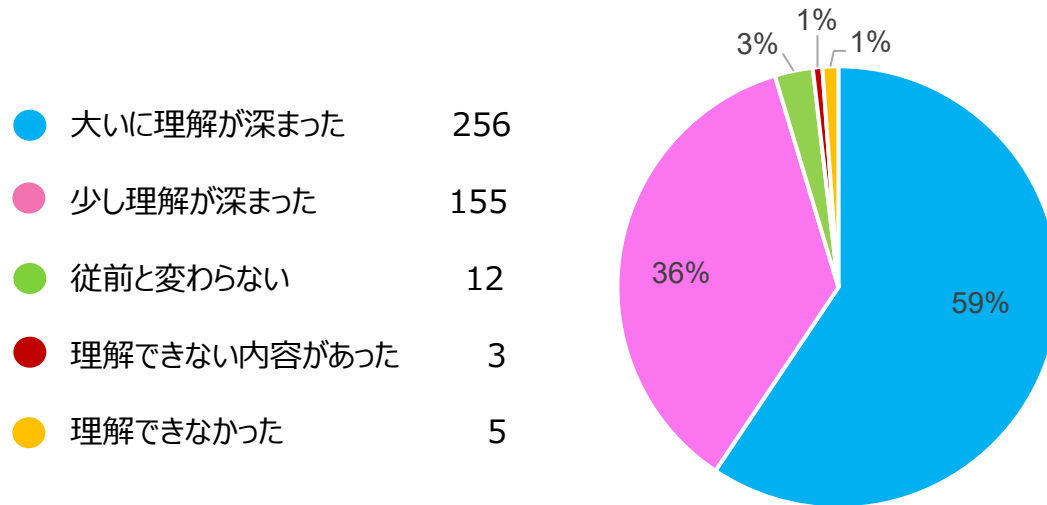


成田市

オープンハウス（対話型説明会）の開催状況について②

【オープンハウス（対話型説明会）アンケート集計（開催箇所（山武市まで）分の速報）】

Q. 説明を受けて、第2の開港プロジェクトの必要性と効果、及びこれらに対する取り組みについてご理解いただけたか。



<主な意見（アンケート抜粋）>

①プロジェクトへの期待

- ・機能強化の早期実現を望む声
- ・世界に誇れる空港づくりへの期待

②地域活性化・雇用

- ・地域経済の活性化への期待
- ・地域イベントへの協力や魅力発信
- ・農地や空地の有効利用、観光振興への貢献
- ・空港拡張による雇用拡大
- ・空港関連求人の待遇改善

③騒音・環境対策の充実

- ・滑走路供用後の騒音問題への対策
- ・夜間・深夜帯の運航への懸念
- ・防音工事の充実や飛行ルート安全性確保
- ・自然環境保全、気候危機への配慮

④地域共生・情報公開の強化

- ・地域に寄り添った対応を期待
- ・地域との対話の機会、説明会や相談会の継続
- ・誠実な対応と、地域への十分な情報公開を求める

⑤交通インフラ整備

- ・鉄道アクセス強化
- ・空港・地域間のバス運行の強化
- ・駅ホームの混雑対策
- ・北千葉道路や圏央道接続道路の早期整備

⑥空港施設の利便性向上

- ・ターミナル統合による利便性向上
- ・空港内移動のバリアフリー化
- ・国内線・貨物機能の拡充

【用地確保等に向けた取り組み状況】 リーフレット（第3号）の発行について

時点更新

- オープンハウスの開催状況の案内を主たる内容として、第3号を1月8日に新聞折込にて配布開始予定。
- 別途、地区回覧等（各自治体の事情に沿った対応）も実施予定。
- 配布先は、成田市、芝山町、多古町をはじめとした千葉県内空港周辺9市町及び茨城県稲敷市、河内町。

【表面】

第3号 2025年12月発行 成田空港の明日を、いっしょに 成田空港 第2の開港プロジェクト — 更なる機能強化 —

地域とともに、未来へはばたく空港へ。

日本の玄関口である成田空港では、もう一つ新たな空港をつくる機運の事業、「更なる機能強化」が進められています。このおたよりでは、この事業が具体的にどういうものか？ 地域のみならずどのような効果をもたらすのか？ 工事などのくらしに与えているのか？ といった内容をお知らせいたします。

オープンハウス（対話型説明会）開催状況について

成田空港の更なる機能強化の内容や事業の進捗状況、今後の空港の発展と地域の発展等についての対話型の説明会を10月下旬より開催しております。12/1における成田市での開催分までの間に、延べ533名の方にご来場いただきました。多数の皆さまにご来場いただき、ありがとうございます。

開催実績（人数）

10/26～28：芝山町(102名)	10/30～11/1：香取市(68名)
11/14～16：多古町(158名)	11/28～29：神崎町(78名)
11/30～12/1：成田市(127名)	12/5～6：栄町
12/12～13：山武市	12/19～21：横芝光町

今後も本紙裏面に記載の日程にて、各市町にて開催を予定しております。説明パネルの展示を行うほか、皆様のご質問等にお答えするとともに、ご意見等も承ります。事前のお申込等は必要ありません。お住まいの市町村に關係なく、どなたでもお越しいただけます。



頂戴しているご意見をご紹介します（ご意見の一部を抜粋）

- 「第2の開港プロジェクト」全般について
- 周辺地域・千葉県・日本にとって大変重要なプロジェクト。成長を期待している
 - 成田空港が中心となり周辺地域にプラスの影響をもたらせるよう、連携して取り組んでいただきたい
 - 新ターミナルや新貨物地区の整備時期を早期に示してほしい

騒音関係 / 環境対策

- 滑走路の間に挟まれたエリアに住んでいる。50万回時の騒音は不安であり、対策の充実を望む
- 住宅防音工事のスピードアップをお願いしたい

機能強化後の空港運用

- 機能強化後の空港運用（スライド運用等）に関する情報開示を積極的に行うべき
- スライド運用開始後も、モニタリングを実施し必要な見直しを行ってほしい

地域振興

- 補償道路整備の早期実現や産業集積により地域活性化が図られ、人口流出防止につながることを期待している
- 空港周辺の住民が空港の機能強化をチャンスとし、いかに地域の発展につなげられるかを考えるきっかけとなるような情報発信を期待している

※12/1における成田市開催分までの間にいただいたご意見より抜粋しております。以後の開催分を含め、数多くのご意見を頂戴しておりますが、現在開催中のため、本紙面では一部のみをご紹介します。詳細については、改めてご報告いたします。

【裏面】

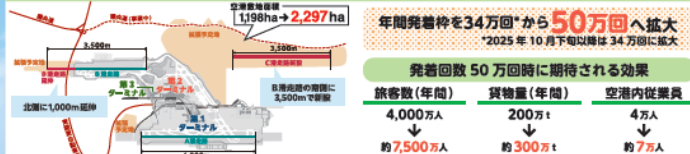
更なる機能強化はなぜ必要か — 国家プロジェクトとしての空港拡張 —

拡大する航空需要を取り込み、ヒト・モノの交流を活性化することで、**日本の国際競争力の強化や地域の活性化を図る必要があります。**

観光先進国の実現に向けて、政府目標である「2030年訪日外国人旅行者数6,000万人」の達成を目指しています。

これらを実現するためには首都圏空港における容量拡大が必要不可欠であり、特に国際線の基幹空港である成田空港が果たす役割は非常に重要です。

成田空港の滑走路の新設・延伸へ



周辺地域で期待される効果

地元企業の成長	地元農水産品の輸出拡大	空港へのアクセス交通の充実
企業進出	雇用の創出	道路ネットワークの拡充
	観光客の増加	

オープンハウス（対話型説明会）日程・会場

2026年			各会場の所在地等 詳細はこちら
1/9(金)、10(土)	各日 10時～16時	稲敷市 稲敷市役所 1階ロビー	
1/16(金)、17(土)		河内町 河内町農村環境改善センター ロビー	
1/18(日)、19(月)		富里市 富里市すこやかセンター(保健センター)1階	

用地確保の状況

NAA が引き続き丁寧に用地交渉を行っており、2025年11月末時点で86.9%を確保しております。

	民有地	公用地	NAA用地	計
必要面積	743ha	115ha	241ha	1,099ha
うち契約面積	約591ha～599ha (79.5%～80.6%)	—	—	確保率86.2% →86.9%

※2025年9月末時点との比較。確保率（契約済民有地+公用地+NAA用地）

機能強化工事の進捗状況

更なる機能強化事業に関するウェブサイト「成田空港の明日を、いっしょに」にて、工事の進捗状況を写真でご覧いただける特設ページをご用意しています。右にご覧いただきます二次元コードより是非ご覧ください。

🔍 更なる機能強化事業についてもっとお知りになりたい方は

HP 成田国際空港(株)HP「成田空港の明日を、いっしょに」<https://www.narita-kinokyouka.jp/>
TEL 0570-000-955 (平日 9:00～17:00) ※ナビダイヤル

用地の確保状況及び更なる取り組みについて

■ 用地取得については、

用地確保等の今後の取り組み方針に則り、引き続き丁寧に用地交渉を進めており、

2025年11月末現在で86.9%を確保。

2025年11月末時点

	民有地	公用地	NAA用地	計
必要面積	743ha	115ha	241ha	1,099ha
うち契約面積	591ha ⇒ 599ha (79.5% ⇒ 80.6%)	—	—	確保率 86.2% ⇒ 86.9%

※2025年9月末時点との比較 / 確保率(契約済民有地+公用地+NAA用地)

- 用地確保等に向けた取り組みを進める中で、一定の用地確保に至っているが、補償の考え方へのご理解を得られない、空港の機能強化にご理解が得られない、相続手続きが未了である、といった課題の解決に至っていない状況は続いている。
- このような状況を踏まえ、これまでの取り組みに加えて、本推進協議会として用地提供のご協力をお願いする共同声明（別紙案）を採択いただき、これを地権者の方々に届け、改めて本事業の重要性をお伝えしながら、早期にご理解とご協力をいただけるように最大限努力していく。

【参考：前回協議会までにお示ししている取り組み】

- ① 代替地の確保の取り組み、相続手続きのフォローや必要に応じた地区との協議等、これまでの取り組みを継続して着実に遂行
- ② 用地確保等の体制強化を実施（実施済）
- ③ 地権者が契約に至るための条件を速やかに整えることに注力

以下のような対応を重点的に行いつつ、協力を求めて丁寧に用地交渉を実施中。

- ✓ 当該地権者の周囲の関係者の方の協力もいただきながら交渉。
- ✓ 相続やその他の権利関係の整理に時間を要している地権者の方に対しては、法的サポート※を実施するとともに、当事者において協議が円滑にまとまるよう働きかける。
- ✓ 代替地の多様な情報提供※を含めて、補償の考え方等を改めて丁寧に説明。

※詳細

- 遺産分割協議に向けた財産管理人選任手続き、遺産分割に関する司法手続きのご案内、弁護士への法的見解の確認
- 農地等の生活再建に資する代替地の情報

- ④ リーフレットの配布やオープンハウス（対話型説明会）の開催



成田空港の更なる機能強化の推進に関する共同声明（案）

我が国が、今後も国際競争力を維持しつつ成長していくためには、首都圏空港の強化が不可欠な状況であり、羽田空港はこれ以上の拡張が難しい状況の下、成田空港の「更なる機能強化」が生命線といえます。

各国、とりわけ近隣アジア諸国が拠点空港の機能強化に動いており、我が国も遅れをとらないためには、成田空港の「更なる機能強化」は待ったなしの状況です。

また、このプロジェクトは、豊かで活気にあふれた地域を創成し、そこに住む若者を含めた多くの人々が幸せな暮らしを営んでゆくための千載一遇の機会だと考えております。

こうしたことから、このプロジェクトの成功に向けて、現在、国、千葉県、地元市町、成田国際空港株式会社が一丸となって取り組んでいるところです。

これまで、成田空港の歴史を踏まえて育まれた「共生・共栄」の精神に則り、この「更なる機能強化」に関しては、400回以上にも及ぶ説明会を開催するなど、地域の理解を得るべく努力してまいりました。

事業予定地内の地権者の皆様におかれましては、成田空港の「更なる機能強化」の国、地域それぞれにとっての重要性について、是非ご理解をいただき、必要な用地のご提供について、格別のご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和7年12月24日

成田空港滑走路新增設推進協議会

国土交通省航空局長

千葉県知事

成田市 長

芝山町 長

多古町 長

成田国際空港株式会社
代表取締役社長

成田空港滑走路新增設推進協議会【資料2】

滑走路新增設推進に向けた連携 (県・市町の主な取組)

令和7年12月24日

移転代替地整備に係る各行政手続きの適時・適切な対応

時点更新

○芝山町集団移転用代替地

川津場地区(整備完了)

⇒開発行為の工事完了検査済、
農地転用許可済

菱田地区(整備完了)

⇒開発行為の工事完了検査済、
農地転用許可済

大里地区(整備中)

⇒林地開発に関する相談対応、開発許可済

○多古町集団移転用代替地

多古台地区(整備完了)

⇒開発行為の工事完了検査済

五辻地区(整備予定)

⇒林地開発に関する相談対応

○事業者用代替地

芝山町 岩山①地区(整備中)

⇒開発許可済、廃掃法・建築基準法等に係る
事前相談対応中

芝山町 岩山②地区(整備中)

⇒開発許可済

多古町 喜多地区(整備中)

⇒林地開発に関する相談対応、開発許可済、
農地転用許可済

○県が保有する空港代替地の活用

⇒県が保有する空港代替地の活用については、
NAAと情報共有しながら、地権者の要望に
応じて進めていく。

埋蔵文化財調査の迅速実施

再 掲

⇒NAA取得用地の準備が整い次第、速やかに調査に着手できるよう財団の体制を整えている。

- ・令和7年度に調査員2名の増員を予定。
- ・県から各都道府県・政令市へ調査員派遣を依頼。併せて、県及び航空局から文化庁へ協力依頼。
- ・文化庁から各都道府県・政令市に対して、県への調査員派遣の依頼文書を発出。
- ・文化庁主催「全国埋蔵文化財・史跡保護行政担当者会議」で調査員派遣を依頼。

⇒県教育庁において、NAA社内体制強化へ協力している。

- ・令和7年度からNAAへ職員1名を派遣。

⇒整備中の代替地のうち、芝山町大里地区・岩山②地区、多古町喜多地区について埋蔵文化財調査を完了、多古町五辻地区について調査を実施中。

※千葉県教育振興財団において、引き続き迅速に調査を実施していく。

地権者の生活の安定の確保

⇒騒音対策区域内通勤農業補完事業補助金を活用した農業経営の支援について、相談を受けている事案に対し、引き続き適切に対応していく。

滑走路新增設推進に向けた連携

県の主な取組③

周辺道路整備への協力

○補償道路への対応

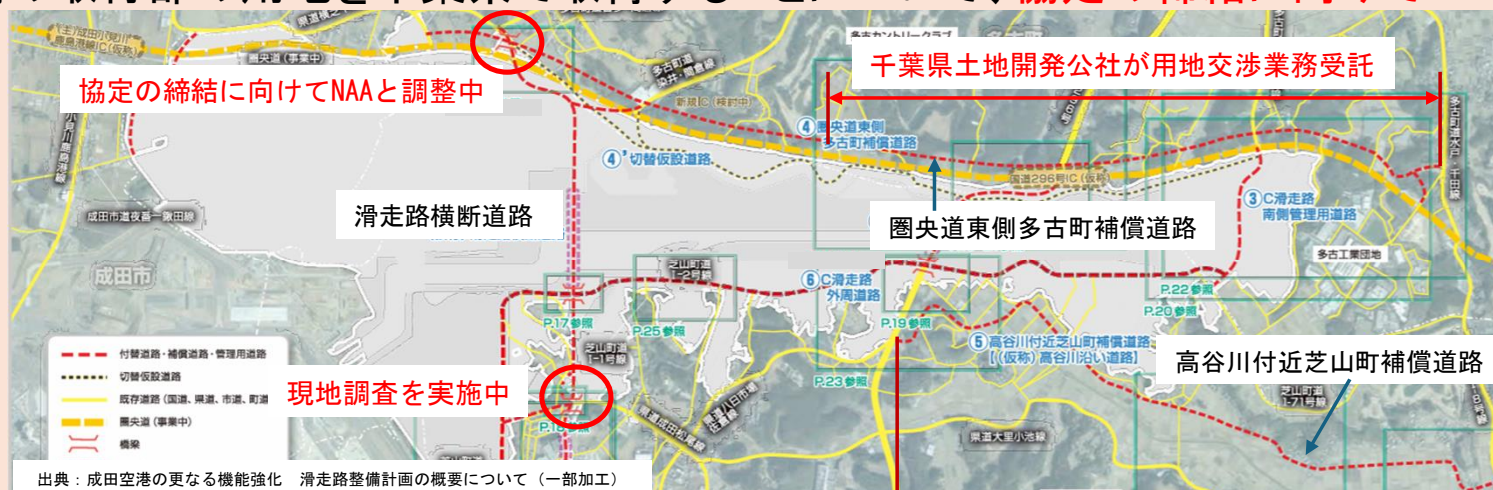
⇒NAAが整備を進める機能補償道路について、千葉県土地開発公社が用地交渉業務を受託

時点更新

○滑走路横断道路への対応

⇒NAAと千葉県の共同で整備し、多古町側をNAA、芝山町側を千葉県が用地取得する協定を締結(R6.3)

- ・芝山町側の取付部の用地を千葉県で取得することとしており、設計に必要な現地調査を実施中
- ・多古町側の取付部の用地を千葉県で取得することについて、協定の締結に向けてNAAと調整中



各種行政相談窓口での相談対応

⇒相談が寄せられた場合に適宜対応

移転代替地整備に係る各行政手続きの適時・適切な対応

時点更新

【成田市】

- ・既存代替地(西三里塚地区)の一部に係る市街化区域編入手続き中、他の街区に係る開発許可済
- ・代替地整備に伴う公共物(道路・公園等)整備の協議
- ・開発許可済(並木町地区)

【多古町】

- ・代替地整備に伴う公共物(道路・公園等)整備の協議(多古台地区については、帰属に向けた協議中)
- ・開発行為の事前審査の実施(多古台・五辻・喜多地区)
- ・代替地整備に係る伐採届(森林法)の受理(五辻地区)
- ・移転代替地整備のための町有地の譲渡(多古台地区)

【芝山町】

- ・代替地整備に伴う公共物(道路・公園等)整備の協議(川津場地区については、帰属済)
- ・開発行為の事前審査の実施(川津場・菱田・岩山地区)
- ・移転代替地整備のための町有地の譲渡(菱田地区)
- ・神社の移転先としての町有地の譲渡
- ・用途地域の見直し、地区計画の策定(川津場地区)

墓地に係る各行政手続きの適時・適切な対応

再 掲

⇒墓地の改葬等に係る相談が寄せられた場合に適宜対応（成田市・芝山町・多古町）

埋蔵文化財調査の迅速実施

⇒文化財保護法に基づく届出等への対応（成田市・芝山町・多古町）

その他

○町内への移転者等を対象とした補助制度の創設等（芝山町・多古町）

○移転代替地における新自治会の設立等支援（芝山町）

○移転代替地における既存自治会との調整（多古町）

○税務署が行う、成田空港へ用地を提供した方の確定申告相談会への協力（多古町）

○各種行政相談窓口での相談対応（成田市・芝山町・多古町）

⇒相談が寄せられた場合に適宜対応

「成田空港滑走路新增設推進協議会」の結果について(概要)

2025年12月24日

推進協議会事務局

国土交通省、千葉県、成田市、芝山町、多古町及び成田国際空港(株)は、本日の成田空港滑走路新增設推進協議会において、機能強化に向けた取り組み状況について共有するとともに、更なる取り組みとして、「成田空港の更なる機能強化の推進に関する共同声明」を採択し、関係者が一丸となって全力で取り組むことを確認しました。

【開催概要】

1 日 時 2025年12月24日(水) 10:00～11:00

2 場 所 成田国際空港株式会社本社ビル1階 S 会議室

3 議 題

(1)機能強化の用地確保等に向けた取り組み状況について

(2)その他

4 出席者

- | | |
|--------------------|-----------------------------------|
| ・国土交通省航空局長 | <small>みやざわ こういち</small>
宮澤 康一 |
| ・千葉県知事 | <small>くまがい としひと</small>
熊谷 俊人 |
| ・成田市長 | <small>こいずみ かずなり</small>
小泉 一成 |
| ・芝山町長 | <small>あそう たかゆき</small>
麻生 孝之 |
| ・多古町長 | <small>ひらやま とみこ</small>
平山 富子 |
| ・成田国際空港株式会社代表取締役社長 | <small>ふじい なおき</small>
藤井 直樹 |

5 結果概要

別紙のとおり

≪推進協議会結果概要≫

1 機能強化の用地確保等に向けた取り組み状況について

- これまでの推進協議会において成田空港会社から示された、用地確保等に向けた今後の取り組みが実施されており、用地確保が 86.2%(2025年 9 月末時点)から 86.9%(2025年 11 月末時点)まで進捗していることを確認した。
- 一方で、課題の解決には至っていない状況が続いていることを踏まえ、更なる取り組みとして、本日、国、県、市町、成田空港会社が連名で「成田空港の更なる機能強化の推進に関する共同声明」を採択するとともに、これを地権者の方々にお届けし、改めて更なる機能強化の重要性をお伝えしながら、早期にご理解、ご協力をいただけるよう、全力を挙げて取り組むことについて確認した。
- また、年度末に向けて、これらの用地確保等の加速化に向けた更なる取り組みについて、国、県、市町、成田空港会社が一丸となって全力で取り組むことを確認した。

成田空港の更なる機能強化の推進に関する共同声明

我が国が、今後も国際競争力を維持しつつ成長していくためには、首都圏空港の強化が不可欠な状況であり、羽田空港はこれ以上の拡張が難しい状況の下、成田空港の「更なる機能強化」が生命線といえます。

各国、とりわけ近隣アジア諸国が拠点空港の機能強化に動いており、我が国も遅れをとらないためには、成田空港の「更なる機能強化」は待ったなしの状況です。

また、このプロジェクトは、豊かで活気にあふれた地域を創成し、そこに住む若者を含めた多くの人々が幸せな暮らしを営んでゆくための千載一遇の機会だと考えております。

こうしたことから、このプロジェクトの成功に向けて、現在、国、千葉県、地元市町、成田国際空港株式会社が一丸となって取り組んでいるところです。

これまで、成田空港の歴史を踏まえて育まれた「共生・共栄」の精神に則り、この「更なる機能強化」に関しては、400回以上にも及ぶ説明会を開催するなど、地域の理解を得るべく努力してまいりました。

事業予定地内の地権者の皆様におかれましては、成田空港の「更なる機能強化」の国、地域それぞれにとっての重要性について、是非ご理解をいただき、必要な用地のご提供について、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年12月24日

成田空港滑走路新增設推進協議会

国土交通省航空局長

宮澤 康一

千葉県知事

熊谷 俊人

成田市 市長

小泉 一成

芝山町 町長

麻生 孝之

多古町 町長

平山 富子

成田国際空港株式会社
代表取締役社長

藤井 直樹